誕生おめでとう (5月31日まで届出分・敬称略)

薩摩

松ヶ鼻 木入道 神領1856-12 永吉7277 永吉7063-3 菱田2782-10 菱田1341 住 所 3 号室 日鎌島 本倉 本倉 一年 本 年 本 年 七 本 年 七 七 岡 﨑 﨑 小野池裕二 女女女男女男女女男 汐 里 優 希 愛斗 翔 梨琉 杏 杏奈 美波 出生児 あん な ゆうき りあん りき まなと みなみ ふりがな ななみ しおり

てくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。 香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をし

しめい
 福をお祈りいたします
 (5月31日まで届出分・敬称略

文中下横上西仮中水化小谷内鄉 保下 人名

弥生 満幸 チエ

(亡夫)

繁雄 和幸 主税

(七父) (亡夫) (亡妻)

ヱミ

(亡夫)

正

勝也

イツ

信男

八頭身選ったて今じゃ肥満妻二見安正

郷句 三條風雲児 選

で『選い』

兼題

一日旅び三日前かり着物を選っしてた。その本業村虎によっ (唱)そん上へ準備たわっざえ荷物

(唱)理想が高けでまた嫌ろわれっ

(唱) 一生を決むいもんな人柄学歴が見合ん相手をば選ばせっます。がなれる。がでれる。がでれる。がでれる。がでれるがで

同な つ 値^a (唱) どゆば取ってん変わらせん味っ値ん刺身むば買かて選いたくっぱ 植村聴診器

(唱) こげんなろとな昔しゃ思わじ

短歌会

霧島山麓芝ざくら園

薬撒機駆く茶摘みしあとを 五月野にちさき夕虹ちりばめて

六十年経っても還っては来ず皐月咲く頃見送りし少年兵 大和てるみ

兼題

『五月』

五月になれば思い出さるる 北大の芝生に横たわり過ごせし日 桑原 正樹

最後と知らぬ五月の写真残雪の下北半島夫婦行き

村上 玉子

中崎ハナエ

吹く風もピンクのじゅうたん渡りくる

内田ちどり 日本平茶摘み女の赤たすき

開聞の大草原に若葉降るかにもなった。 坂元つる子

欠伸してインコ深寝や春うらら 廣江澄子

崎俳句会

葉桜や川面に映ゆる夏の月 桑原

正樹

暗算が好きと言ふ子や桜鯛 内田ちどり

豆ちぎり手伝ふ幼風光る

中崎はなえ

凛として接木の細き芽の伸びる 新小倉ハツ子

余利野靜子



上上仮町郷宿下

木原 久 徳

久 子

典明

(亡母) (亡父) (亡夫)

サチヱ 義秋

スヱ子

裕二

(亡祖母) モヨ

須美

(亡夫) 正大 進

宮西迫園 追郷

西 寺 松 穂宮 園 元 園

ツ 利 子 子

(七父)

利優 夫一

福島 岩元 服部 馬原 堂園

(亡夫) (亡夫)

好子 ゆきえ